

第2回上山市振興審議会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月23日（水）午後2時00分～4時00分
- 2 場 所 上山市役所 大会議室
- 3 出欠席委員等氏名
 - (1) 出席委員
 - 1号委員 尾形 みち子、川崎 朋巳
 - 2号委員 木村 佳代子
 - 3号委員 原田 広幸
 - 4号委員 安藤 常浩、猪狩 良佳、榎本 令子、小川 久義、
菅野 高志（代理：商工会副会長 加藤 洋三）、小松 亮太
永田 孝子、山川 和寿、山川 庸久
 - 5号委員 下平 裕之、鈴木 明美、柳井 雅也
 - (2) 欠席委員
 - 4号委員 五十嵐 伸一郎、堀川 博美、堺 美奈子
 - 5号委員 遠藤 寛明
 - (3) 上山市振興計画策定委員出席者
 - 副委員長 横戸 隆 教育長
 - 関係課（局）長 20名
 - (4) 事務局 市政戦略課 市政・SDGs戦略係
 - 富士課長、猪倉副主幹兼係長、渡邊主査、渡辺主任、土屋主任、古瀬主事
- 4 会議に付した事件
 - (1) 報告
 - ア 第7次上山市振興計画の振り返りについて
 - イ 第8次上山市振興計画に係る市民意識調査結果について
 - ウ かみのやま☆未来市民会議の実施結果について
 - エ 団体ヒアリングの実施結果について
 - (2) 協議
 - ア 基本構想骨子（案）について
 - イ 総論・基本構想（案）について
 - ウ 施策の大綱 体系（案）について
 - エ その他

5 会 議 録 進 行

ただ今より第2回上山市振興審議会を開催いたします。はじめに、交代により新たに委員になっていただく方に鈴木副市長より、上山市振興審議会委員の辞令書を交付します。

(鈴木副市長から、原田広幸氏へ辞令書交付)

この度、新たに委員となりました3号委員の原田広幸委員より、自己紹介を兼ねまして挨拶をお願いします。

原田委員 農業委員の会長職務代理者を拝命しております、原田です。

この席は、初めてでまだ分からないことがあります、どうぞよろしくお願ひいたします。

進 行 本日、4号委員の上山市商工会長菅野高志委員の代理として、商工会副会長の加藤洋三様よりご出席をいただいております。

並びに、本日の欠席委員ですが、4号委員の五十嵐伸一郎委員、堺美奈子委員、堀川博美委員、また5号委員の遠藤寛明委員より欠席の連絡をいただいております。

次に、柳井会長よりごあいさつをお願いいたします。

柳井会長 お忙しい中、また、大変暑い中お集まりいただきありがとうございます。今日は11時位にこちらに入り、1時間半ほどこちらの商店街を見学し、街並みを見てきました。街の作りというのは単なる産業経済ででき上がるものではなく、つながりの強さ、コミュニティで作られます。街を見て回ると、中々工夫できるところがあるな、という印象がありました。

本日、後方座席の方に学生さんが座っておりますが、上山市の出身である、当研究室の学生を連れてきております。

徳島県の5,000人くらいの小さい町に行ってきました。小さい町でしたが、非常に活気のある町でした。にぎやかな過疎ということで、IT企業を17社誘致しており、若者が街にあふれかえています。また、まるごと高専というものを作っている、徳島県神山町に行ってきました。アーティストを入れたまちづくりをしており、そのまるごと高専は全寮制で寮費や学費も無料で、いろんなイノベーションが起こっており、視察が相次いでいます。上山市も集落単位でうまくアイデアをカスタマイズできれば、まちが良くなっていくと思います。

お願いしたい事がございますが、これがないとか、あれが欲しいとか色々あると思うので、ご意見をいただければと思うのですが、よりお願い

したい事は、これとこれを組み合わせるとコストカットになる、産業課と福祉課と空き家対策を組み合わせたプロジェクトを起こせばもっと良い結果が生まれるのでは、というような、合わせ技の発言、アイデアをいただきたいと思います。今日で決定というところまではいかないと思いますので、出だしのアイデアとして皆様からいただけたらと思います。私からは以上となります。

進 行 ありがとうございます。ここからは、上山市振興審議会条例第6条第2項の規定により、柳井会長より議事進行をお願いします。会議の内容については、市のホームページで公表しますので、マイク等を使いご発言をお願いします。

柳井会長 それでは、お手元の議事次第をご覧ください。次第の4、会議録署名委員の指名を行います。

上山市振興審議会条例施行規則第9条第2項の規定により、会長において、川崎朋巳委員、山川和寿委員を指名いたします。川崎委員、山川委員よろしく願いいたします。

次に、次第の5、報告に入らせていただきます。はじめに、会議の進め方について改めてお願い申し上げます。審議会の会議録を作成することが必要ですので、委員の皆様には、マイクを使って発言して下さいますようお願いいたします。

それでは、報告に入ります。報告の(1)第7次振興計画の振り返りについて、事務局の説明を求めます。

(富士課長が資料1に基づき説明)

柳井会長 ただ今、事務局から説明がありましたが、これに対して確認、質問、意見等があれば発言をお願いします。質問等ございますでしょうか。

特になければ進めさせていただいてもよろしいでしょうか。後ほどまたご意見を伺いますので、その時にご発言いただいても構いません。それでは、報告の(2)第8次上山市振興計画に係る市民意識調査結果について、事務局からの説明を求めます。

(富士課長が資料2に基づき説明)

柳井会長 ただ今、事務局から説明がありましたが、これに対して確認、質問、意見等があれば発言をお願いします。

特になければ、進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

次に、(3)かみのやま☆未来市民会議の実施結果について及び(4)団体ヒアリングの実施結果について合わせて事務局の説明を求めます。

(富士課長が資料3及び資料4に基づき説明)

柳井会長 ただ今、事務局から説明がありましたが、これに対して確認、質問、意見等があれば発言をお願いします。市民が集まって自由に意見交換をした

ということで、感想の中にも、振興計画にどのように反映されるかなどのお話があり、注目されています。その点等に関して何かご意見等あるでしょうか。

下平委員 資料3について、10年後の上山について市民自身が考えたということで、私も市外の人間なので非常に参考になりました。市民自らが基本構想に関わるということで、この結果を計画づくりに生かすという事は非常に良いことだと思います。

柳井会長 委員の皆様にも、一度資料を確認いただいて、ブラッシュアップにつなげていくためにも、ご意見を頂戴したいと思います。

それでは、よろしいでしょうか。

それでは、次第の6、協議に移ります。1番目と2番目は基本構想という事で、一括して説明をお願いしたいのですが、役所の言葉ですと分かりにくい点もありますので、簡単に説明しますと、基本構想というのは、憲法のようなものです。基本構想にぶら下がり展開される基本計画があり、その下にたくさんの実施計画があり、ピラミッドのような構造となっています。総合計画では、この基本構想をきちんと作る必要がありまして、この説明はこの点に関するものになります。では、協議の(1)基本構想骨子(案)及び(2)総論・基本構想(案)について、一括して事務局の説明を求めます。

(富士課長が資料5及び資料6に基づき説明)

柳井会長 基本構想というところで、市民協創、SDGs、わかりやすいまちづくりと計画の特徴が3つ示されております。今回はSDGsの考え方をベースにしていると記載されております。市政の参加について、『アンケート調査で充分』という意見が多いのですが、市民会議の実施結果を見ていただくと、市民会議は非常に楽しかった、もっと話し合いをしたいという意見もありました。というのも今までそういう場がなかったために、それぞれ自身がそのように思い込んでいたという可能性もありますが、新しい計画ができたなら、市民の動いている姿が見えるような計画が作れると良いと思いました。ただ今、事務局から説明がありましたが、これに対して確認、質問、意見等があれば発言をお願いします。中々変えられない部分もありますが、建付けの大きい部分に触れていただけるとありがたいです。

柳井会長 よろしいでしょうか。では、次に、(3)施策の大綱体系(案)について、事務局の説明を求めます。

(富士課長が資料7に基づき説明)

柳井会長 ただ今、事務局から説明がありましたが、いかがでしょうか、この分野の分け方について、少々かぶっている所もあるようですが、これに対して確認、質問、意見等があれば発言をお願いします。

例えば、皆さんご存じの通り、子ども食堂というのがありまして、最近
は子どもだけではなく、お年寄りの中での貧困化もでており、そういった
方たちも支援する社会食堂、というものがあるんですけども、そういった
ものは、どの分野に入ってくるのかなど、そのような話でも構いません。

本日、時間がありますので、おひとり2～3分ずつご発言いただきたい
と思います。その時にご発言をお願いしてもよろしいでしょうか。

柳井会長 次に、(4)その他に移ります。事務局から何かありますでしょうか。
事務局 特にございませぬ。

柳井会長 それでは、委員の皆さんから御意見をお願いいたします。

下平委員 先ほども申し上げましたが、市民の皆さんと未来市民会議で市民自身が
10年後の未来を考えたという事で、基本構想に相当するもの考えたとい
うのはとても良いことだと思います。できるだけ、市民会議で出た意見
は宿題ととらえて、計画に取り入れていただければと思います。

施策の大綱についてですが、1つだけ言わせていただくと、2 健康・
長寿福祉ということですが、最近は福祉といってもコミュニティとかまち
づくりといった側面もなす場合もあり、これは施策の大綱とは別に、どう
しても施策として分けなければならないのはありますが、これから議論を
していただければと思います。

柳井会長 下平先生に伺いたいのですが、この計画の設計図がSDGsに乗っかっ
てしまった瞬間に上山らしさが消えてしまうので、その点について下平先
生からアドバイスをいただければと思います。

下平委員 分け方が重なってくる部分があるので、分け方を統合するなど、そうい
った議論が重ねられると良いと思います。

柳井会長 次に鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴木委員 市として、いろんなことを考えているというのを身近に感じるものがで
きました。一方で、市民意識調査で回答率が30数%というのは残念だと思
いました。一方で、未来市民会議は良かったと思います。これからを担
う若い世代の人たちが、これからのまちのあり方をですね、フェイストゥ
フェイスで意見交換を重ねていくことが大切なので、今後も推進してい
ただきたいと思います。また、施策の大綱の箇所は、一般企業から来てお
りますので、上山市の雇用というところでは、1つの企業としてこういった
機会を通じて色々と考えていきたいと思っています。

柳井会長 産業政策の視点から、沢山の方が働いていらっしゃるかと思いますが、
従業員方が普段思っていることなど、なにか話せる範囲でご紹介できれば
と思います。

鈴木委員 私が所属しております企業は、従業員が約800数十名働いておりまし
て、平均年齢が20代後半～30代と非常に若い企業です。中々私のよう

な年代だと、20代の若い方の考え方や意識構造のベクトルを合わせるのが難しいのですが、その中で何が一番効くかというのを繰り返し繰り返し話を聞く事です。意見交換をする機会というのが企業としても重要だと考えています。

山川(庸)委員 施策の大綱ということで、分類はこのような形で良いと思いますが、文化団体協議会の立場として、特に生涯学習、文化芸術の分野でも色々問題があります。働く婦人の家という施設があり、結構多くの団体が利用していますが、とある事情で令和7年度に当施設が閉鎖されることになりました。我々文化団体が練習会場として使っているのが、公民館や体文ですが、婦人の家が閉鎖されると、そこで活動している団体をどのように受け入れていくかが課題です。2つの団体の分野が色々活動するには、施設利用状況が非常に込み合っています。新しい施設を整備するなど、市の財政もあろうかと思いますが、我々の立場としては、何とか新しい活動の場所を考えていただきたいと思います。

それと同時に、県の文化団体協議会の会合に行くと、今の中学校、高校のクラブ活動が児童生徒減少の影響があり、部活動がなかなかできない、また、学校の先生の仕事も厳しい、一説には先生のなり手がいないという話が出ています。そのような部活動を地元のスポーツ団体等に吸収していただきたいというのが、国・県の考え方となっています。そのためには、市の応援も必要だと思います。鶴岡市ではそのような文化団体に、年間80万円の支援を行い、子どもや地元、文化団体の活動を支援しています。新庄市では年間50万円の支援を行っています。上山市においても、早急にそのような方向性を作っていくことが必要だと思います。

山川(和)委員 私、子育て関係を代表してきており、あまり詳しくなく恐縮ですが、未来市民会議、非常に良い取り組みだと思いました。ただ、限られた人しか参加していないということなので、小学校の授業の単位でディスカッションという形で、授業として取り入れてもらい、子どもたちの柔軟な考え方で、『こういう風になってもらいたい』という意見を汲み上げて、この会議で内容を取り入れても良いのではないかと思います。これから若い子どもたちが主役となって、上山を盛り上げていただきたいので、その点からもリーダー性を育むという事でも良いのかなと思います。

柳井会長 宮城県の女川町では、60歳以上は口を出すなどいっているわけですがけれども、若い人が街づくりをすると人口が増えるわけです。若い人の力というのは大切だと思いますし、次回会議をやる時は是非参加していただいて意見をいただきたいと思います。

永田委員 私たち団体は、女性の地位向上を目指して活動している団体です。22年間活動してきましたが、20周年の記念事業で、上山市立図書館に子ど

もたちの未来を考えW i - F i 整備をしました。上山の未来の子どもたちのために、教育や子育てしやすい環境づくりが大事だと考えています。

また、上山音楽祭に関わっていますが、いろんな方を県外からお迎えしています。そうしますと、自然が豊かで食べ物がおいしい、温泉があつて素晴らしいなどお褒めの言葉を多くいただきます。しかし、地元の方は「上山は何もなくて・・・」という話が多いので、こんなに素敵な街なのに、市民の意識が、あつて当たり前と思つているかなど、もっと自分の街に自信をもって、皆にPRすることが大事であると感じています。

柳井会長 合わせ技という話をしましたが、観光という切り口ですと上山市民の何割かは『上山は何もない』という発言がでると思います。しかしながら、観光地づくりではなくて、目的地づくりとして取り組むと、例えばワインがおいしいとか、ピンポイントできちつと作りこみをやっていると、そこが目的地になるんですね。例えば長屋門ギャラリーとかですね、ワークショップをやると。そうすると、役所の縦割りの取組ではなく、観光政策担当や商工担当、社会福祉など合わせ技で取り組んでいくと、連携をとってシナジー効果が生まれてくるんですね。複雑に体系化されて仕上がっていくんです。役所はそういうことは苦手なんだけど、是非くっつけるという事を意識して取り組んでもらえると、上山の良さがシナジーで高まっていくと思います。ぜひ頑張っていたきたいと思います。

永田委員 色々な方がお見えになるので、迎える立場として、非常にありがたいと思つています。

柳井会長 女性の地位向上についてもですね。シングルマザーについて、様々な問題を抱える方がいて、労働問題とか、精神、心ですよ。専門が全然違う方が登場しなければいけないのに、問題が解決しないまま結局相談しに行かなくなる。これを合わせ技でやっていると、例えば、赤ちゃんステーションなど、赤ちゃんをみながら女性の悩みを聞いてあげるなど、全然違った位置づけになってくるんですね。それにあつた施策をちゃんと打てるかどうかだと思いますね。

榎本委員 P T A の中でも、何十年後かには学校が1つになるという話がでていの中で、人口減少による学校の統廃合で、子どもたちが歩いて通えなくなるなどの問題もあるので、市からスクールバスを出していただけるとありがたいと思います。また、民間で子ども食堂をやられている方いらっしゃいますが、先生方からも話が出ておりますが、子どもだけでなく高齢者の方も対象とした同様の事業に取り組んでもらいたいと思います。

柳井会長 人口減少が避けられない中で、先ほど紹介した徳島県神山町では何をしたかといいますと、人口構造を変えていくということをしました。人間関係を密にしていくと、100人が200人、300人分のコミュニケーション

ョンになっていくんですね。小学生でどうやったかという、徳島県では1学級20人を切ってくると統廃合対象になります。統廃合を免れるためにどうしたかという、必ず父・母ともに仕事を持っている人かつ子どもが2人居る人を優先的に移住してもらっています。つまり逆止弁型な移住施策をとっています。まず3年間くらいで50戸くらい、自然減でプラスマイナスになったので、社会増は発生している事になります。将来人口で人口予想をきちんと計算して、移住施策を行うことで、統廃合を免れるという手法もあります。空き家を使って住んでもらったりですとか、教育だけだとアイデアが出てこないです。移住や子育て施策の面から考えると全く違う可能性が見えてくるので、ぜひそういったところを実施計画で考えていただけると良いですね。

猪狩委員 漠然とした言い方になるんですけども、策定の趣旨にありますとおり、子どもからお年寄りまで市民とともに歩むことができるような第8次振興計画という事で、ぜひ目標値に到達できるような施策を考えてもらいたいと思います。

柳井会長 実際の介護現場で、課題等があればお話しいただきたいと思います。

猪狩委員 介護の場面ですと、いままでですと、3世代家族が多かったのが、今は核家族が増えており、また単身の方がいたりもして、お年寄りの方をどうやって介護をしていけば良いのか、また介護する側も働いていかないと生活できない、加えて物価高騰の世の中で、施設を利用するのにもどうやって利用料を払っていくのかという問題があって、そういう部分もみんなで助け合っているような市民生活になれば良いのかなと考えております。

安藤委員 医師会としては、施策の大綱2番『健康・長寿の達成』のところで上山市はクアオルトを中心とした健康づくりというところでやっておりますので、あるいは坊平のスポーツ施設もありますので、健康年齢の延伸というところでは積極的に取り組んでいると思います。あとは個人的な意見となりますが、アンケートについてどうしても住民の方中心となりますので、印象として感じたのは、上山を出ていく人を減らそうというのが中心のようですが、移住でなくても、県外や世界からなど、どのように人を呼び込み満足してもらうかが重要だと思いますが、その辺の戦略が練られていないと思います。病院長の立場で色々職員と話をしますが、山形市に住んでる方が上山市にきて、病院は上山でも山形よりの方が充実しています。上山でも例えば、山形寄りのリナワールドまで、コストコまでだと来るが、街中まで入ってこないため、上山の街の中に人を呼び込める手段があると良いと思います。ワインバルや音楽祭など一生懸命取り組まれているのは分かるんですけども、日常の中にそういうコンテンツがあると良いと思います。天童だとモンテディオ山形のスタジアム、寒河江だと公園など、上

山にもそういうのがあると良いと思います。戦略的なものもあるかと思いますが、少しこの計画の中に散らしていただくと良いのかなと思います。

柳井会長 山形よりの方が医療体制が充実しているとの話がありましたが、別の市では産婦人科がないなどの問題もありますが、上山市全体で見た時、医療体制はどのような感じでしょうか。

安藤委員 出産できる病院は何年も前から上山市にはありません。また、小児科も去年まではありましたが、ない状況です。診察してくれる先生は1～2名いますが、山形市に依存している状態といいますが、山形市に車で行けば診てもらえるので、あまり危機感としてはない状況です。総合病院に近い病院としては、上山市に対してそういうサービスも提供したいのですが、現実としてはそういう状況という形です。

原田委員 具体的な質問等は次回以降とさせていただきます、普段上山市に対して私が思っていることを言わせていただきたいと思います。私の周りの人は、なぜ上山はこんなに元気がないのかという話が多いです。どうしたら良いのか、こうしたら良いのかという話ではなく、上山市は山形にも近いのが影響だろうという人が多いです。私が、22、3年前、高畠町で約3年間勤務していた時ですが、人口が当時21,000人位でしたが、非常に元気がある街でした。非常に面白い方が多く、知らず知らずに惹きこまれていくんですね。組織の長にそういう人が多いと、会合が非常に盛り上がる。特に若い人に元気がありました。行政に対しても色々と意見をいう雰囲気でした。上山も魅力のあるまちだと思いますが、それだけではだめで、情報発信が必要です。厳しい時も、笑っていると、前向きな気持ちになれると思います。行政に関わる人も、面白くない時も笑って市民を迎えてもらえると、市民から上山市も少し変わったのではないかと思ってもらえるだけでも良いのではないのでしょうか。

柳井会長 このような会議は充て職の方で組織されている場合が多く、年齢的に10年先我々もどうなっているか分からないので、もっと若い人を入れた方が良いと思っています。先ほどどなたかおっしゃっていましたが、小学生の意見が入ってこないですね。小学生は非常に良い意見を持っていることが多いです。小さい子の方が良い意見を言う時がある。我々の知らない感覚を持っているんですね。

この会議の構成を聞きますと、条例で決まっているようです。もう少し若い世代、革新をもたらすようなメンバーをプラスできると良いですね。条例改正になってくるので、機会があったら議員さんからも言っていただいて、この計画策定期間に間に合わなかったとしても、次期計画に向けたネオ上山市のような構成にしていただけると良いのかなと思います。

先ほど、笑うという話がありましたが、笑う力によってここに来たいと

思う人が増える。増えてくると、その人達がコアメンバーになって、力になってくれる。

最近分かってきたのですが、イベントの後そこに集った人間が、その次の仕掛けを起こす、それをつなげるようにしてあげると、地域が変わってくる。そういった仕組づくりが重要です。

木村委員 意識調査の中で、『人口を定着させるためには、地域に働く場所を確保することや、安心して子どもを産み育てられる環境を作ることが大切だと思っている』と書かれています。私自身も子育て世代として3人の子どもを育てていますが、安心して子どもを育てられる場所は大事だと思います。子どもが小さいときは、公園がすごく必要で、行ける公園が無くて困りましたし、中学校に上がると、登下校の道の暗さが心配でしたり、高校にあがると、駅に送迎をしています。駅の送迎の不便さを実感するなど、子どもの年代によってニーズが変わってきます。アンケート調査で気になったのが、本庁地区の意見が多かったのも、駅から離れたような交通の便が良くない地域の意見ももっと吸い上げられると良いと思いました。山川委員も仰ったように、小学生や中学生からもいろんな意見を出してもらい、市民の意見を吸い上げられた計画ができると良いと思います。少子化含め、部活動、猛暑による熱中症の問題もありますので、そういった面も皆さんで考えられると良いと思います。

柳井会長 アンケートの地域の偏りについて話がありましたが、事務局から説明はありますか。

事務局 基本的には本庁地区は人口が多いということもありまして、地区別に人口割合に応じて送付しているのですけれども、後は回答者がどのようになっているかというのがありますが、偏っているという訳ではなくて、そのような傾向となっている所であります。

小川委員 さきほどからいろんな方々からお話が出ているとおり、市民意識調査について、市民の方々にこの大綱がどういう風に受け入れられるかが大事であり、ある程度形ができてこないと難しいと思いますが、いかにPRしていくか重要だと思います。今上山市はこういう事をやっていますよ、という事を大いにPRしていただきたいと思います。一か月前ほど、上山市青少年育成協議会の中で、中学校の部活動問題について話をさせていただきました。子どもたちが少なくなっている中で、団体スポーツやクラブが成り立たなくなっています。スポーツにはすごい力があると思います。

この前、少し話になったのですが、市民プールがなくなりました。非常に暑い日が続いているので、市民プールがあった方が良いと思ったところです。少し利用料が高くて行くのでないかと思います。子どもたちの将来を考えると、部活動問題は文化部、運動部含めて非常に大事な

問題ですので、市民の方々と一緒になって意見交換させていただきたい
と
思っているところです。

柳井会長 施設は掛け算と言われておりまして、例えばクアオルトと健康とか、ス
ポーツと体験とか。運動系のeスポーツなども可能性があるのではないかと
思います。または、スポーツとITですとか、掛け算で考えると地域素
材も生きてくるのではないかと思います。

小松委員 上山青年会議所は、20～40代の方で構成されていますので、ほとん
どが子育て世代となっています。第7次振興計画の振り返りという事で、
子育て環境が充実していると思っている市民の割合、目標値、実績も低い
ということで、市民意識調査でも、重点的に整備していくところにおいて、
子育てしやすい街づくりの意見がトップだという割合がでていているところ
ですが、やはり、アンケート結果を見て、ここまでだったらできるかもしれ
ませんが、というだけでは結果は伸びてこないと思います。何がどこまで
必要なのかというニーズを汲み上げなければいけないと思います。小学生
から意見を聞いてみたり、子育てをしている主婦から意見を聞いてみるな
ど、何が必要なのかというところを一つ一つ汲み上げていかなければより
良い計画にならないのではないかと思います。

柳井会長 アンケートを行う時は注意しなければいけません。本当に普段から使用
している人を対象にしてアンケートを取らないと、皆にとって良い結果と
ならないことがあります。繊細さを考えると、アンケートの取り方も変わ
ってくると思います。

加藤副会長 気になったのが将来人口推計ということで、どこでも人口減少になっ
ているのですけれども、2040年には2万人を切るという推計データにな
っているということで、商売をしている人にとっては、商売や働き手の確
保の面からも非常に厳しい状況です。上山だけでなく、近くの山形から人
を引っ張ってくる、お客様になっていただくなど考えなければいけないと
思います。上山は何もないといわれますが、小さな飲食店やお菓子屋さん
ができてきているので、足を運んでいただいているいろんなPRを皆さんの方
からもしただけると大変助かります。チャレンジする店を商工会とし
てもバックアップしていきたいと思っていますし、そして、今ある非常に
良い店も高齢化や後継者問題もあるので、そういった店を何とか残してい
けるようにバックアップできたら良いと考えています。

先月、盛岡に行く機会があり、ニューヨークタイムズが今年の2月に話
になりますが、盛岡を今年行ってみるべき都市に取り上げていました。世
界で2番目として、1番はロンドン。特別なものは何もないが、キラッと
光る店がところどころにあり、ちょっと歩きたくなる街、それが盛岡なん
です、という紹介になっており、目指すべきところはそのようなところな

のかなと、人口は盛岡の10分の1ですが、そういう街を目指せるのではないかと考えたところです。

柳井会長 盛岡がすごいのは、色っぽい街のランキングというのがあり、普通の街のランキングは、コンサートホールが幾つあるか、何々が整っているかなどの指標で測りますが、このランキングは、飲食店の店主から声をかけられたことがある、カップルで街を歩いているときに冷やかされたことがあるなどの250位票を集めてランキング付をしまして、盛岡は14位くらいです。仙台は、30位くらいです。それだけポテンシャルがあり、ホスピタリティ、優しい街づくりをされてると思います。恐らく、盛岡を見てみるとそちらの方からアプローチをして、居心地の良い、過ごしやすい、くつろげる、そういう街づくりをしているのかなと思います。

今日上山市に来て、街を歩いていると、図書館がお休みだったんです。4階まで上がって初めて休みだと分かったんです。そしてどこから入って良いか分からない。本当は1階で分かった方が良いのに、そういう案内がありませんでした。そして、お城に向かう十日町の交差点でも、『お城はあっちですよ』という案内もありません。細かい視点に配慮が少ないですし、集合の美や全体として認識する力が弱いと感じました。ファサードですとか、空き家対策ですとか景観修繕保存とか、単年度で1個1個の事業は大きくないですが、全部でき上がった時に、集合した街ができます。そういう風な地域づくり、しかけづくりを若い人を入れてやった方が良くと思います。

川崎委員 人口の目標と推移に関してですが、国立の研究機関である社人研の推移があるわけですが、本市の目標値には届かなかったものの、社人研の推移を上回っているのは、行政として一体的に取り組んだ成果として評価できるのかなと思います。恐らく、教育委員会だけ頑張った、子育て課だけ頑張ったというだけではこの結果はでなかったと思います。目標達成までは至りませんでした、一定の評価を下すべき箇所ではないかと思えます。

事務局からの説明の中で、まちづくりへの積極的な参加に関して、説明がありました。積極的にまちづくり活動に参加する意向が弱いという話がありましたが、ここに関しては、考え方を改めなければならないと思ったところです。今までですと、まちづくりに参加したい気持ちはあるけど、その時間を自分の時間に使いたい、参加したところでどういう成果が現れるか分からなかったからまちづくりに参加しなかった、という考えを今までアンケートに基づき持っていました、このアンケートを見てまちづくりに参加する意向が弱いというところで状況が今までの私の認識と違っていたのかなと思いました。現状や考え方が変わってきたと認識したところです。

一方で、未来市民会議は、非常に素晴らしい取組だと思いました。どんな方が参加したか承知していませんが、将来都市像をみんなで作るということで、参加することでの成果物として将来都市像ができる、参加することで何かを変えることができるという実感を得られるような取組として考えられるのではないかとということで、非常に良かったと思います。

第7次振興計画では「協創」を掲げて8年間取り組んできたところでございます。本日、各種団体の方から事情やご意見をいただくことができたわけですが、各種団体におかれましては、積極的に「協創」を重ねてこられた方だと認識しております。そう考えますと、第7次振興計画の中で8年間取り組んできましたが、まだ「協創」の考え方がまだまだ定着していなかったのかなと思います。アンケートの結果ですので一概には言えませんが、引き続き、皆でアイデアを出し合い上山を良くしていくんだという事は、第8次振興計画の中でも必要だと思います。

尾形委員 議員生活も20年を迎えまして、上山市に来た時私が掲げたのは、女性の地位向上や、またそれが学びというところで活動の目標としてきました。女性が定着することによって、上山というのが、上山市でも、男女比は女性の方が多いですし、女性の方が長く生きるという事もありますので、キーワードは女性だと思い活動してきました。やはり、この計画の中でそこを外してもらっては困ると思っています。

各団体の皆様からご意見を伺い、私も大変勉強になりますけども、私も小学生への読み聞かせに行ったり、障がい者施設に行って、様々な交流をさせてもらって感じるのは、原田委員も仰っていましたが、私たちも子どもに笑顔を振りまくのですが、それ以上に笑顔が返ってきます。そういうのが力になっていくという事でございまして、そういう事が大事だと改めて原点を認識できました。

実際、私が議員として何ができるかという事を含めてですけれども、市民プールが廃止となったというお話がありましたけれども、それを阻止しようという考えで一般質問をさせていただく予定です。

施策の大綱についても、これでは面白くないなど、もう少し考えて欲しいという意見もあったところですので、会長と皆さん含めて議論していきたいと思います。

柳井会長 地域の現状や人口の現状を正しく捉えることができると、もっと違う施策が可能となってきます。そういったところを第8次振興計画に取り込めていければ良いと思います。

最後に、もう一度発言したい方はいらっしゃいますか。

下平委員 これからの審議会の議論の中で考えると、皆さんは市民の代表としていらっしゃるにいただいているので、ご自身が一番に考えていることを意見

として出していただけると良いのかなと思います。施策の大綱の方ですが、SDGsを意識した位置づけのことですが、上山市の相応しい形があると思いますので、皆様からの意見もいただきながら、市民にとって見やすく分かりやすい計画にしていきたいと思います。

柳井会長　それでは、本日の報告は以上で終了いたします。ご協力ありがとうございました。以上で、議長の座を下ろさせていただきます。

進　　行　　柳井会長、議長の任、誠にありがとうございました。

それでは、次第の7、その他に移ります。委員の皆様からなにかございましたらお願いします。

事務局から連絡がございます。次回の振興審議会は、9月26日（火）の13時30分から同様の場所で開催しますので、またご参加のほどよろしくをお願いいたします。次回会議資料につきましては、今回同様郵送で事前に送付させていただきますが、当日も机上に準備いたします。また、資料の青いファイルも、置いていっていただければ次回も準備させていただきます。

以上を持ちまして、第2回上山市振興審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

（閉会　午後4時30分）

上記会議録は、令和5年8月23日に開催された第2回上山市振興審議会の会議内容と相違ないことを認めます。

会議録署名人

㊟

会議録署名人

㊟